

ほろけもん

233 ワイン騒動



薩摩郷白 兼題『大根』

黒チヨカで 大笑いになった 股大根
 (唱) 誠ち良出来た しよっせな大根

北村 虎王

島大根 ひん抜こしたや ぎくつやつつ
 (唱) はらちよつしもた 年齢しゅば考げじ
 二見 愚楽満

大根どが 年中刺身ぬ 引つ立てつ
 (唱) 目立たせんばつ 無などつならじ

西ノ園 ひらり

開聞岳と 誠ち絵にない 掛け大根
 (唱) 車を止めつ カメれ取めつ

諸木 小春

干し大根 母ん料理どん 思め出せつ
 (唱) 誰も敵わん 母さんの煮しめ

上窪 小絵

寒が来じ よめさいなつた 干し大根
 (唱) 温暖化じやる 暑き日が続つ

満石 くらら

大崎短歌会 兼題『体操』

一三三 手足を鍛え 転ばぬように
 忘れてならぬ 頭の体操

高瀬 睦子

オリンピック 内村選手の 案山子あり
 田んぼの中に 体操日本

上南 紀子

卒寿とは 言へどますます 元気です
 ラジオ体操 イチ・ニ・サン!

大和 てるみ

長き足 くるくる回し 水すべる
 あめんぼうの体操 うらやみて見る

中崎 ハナエ

体操も 踊りも苦手 スポーツ音痴
 どうも人生の 半分損してる

原田 葉子

大崎俳句会

黄金の 稲穂喰み行く コンバイン
 宮脇 洋子

はんや節に 手拍子はすむ 敬老日
 宮下 のし

氏神の 屋根を飛ばして 台風過
 三浦 倫子

夏遍路 木かげに数珠の 置き忘れ
 折田 スズ

嬉しさも 寂しさもあり 敬老日
 坂元 つる子

もう見えぬ 孫等の車 秋の声
 春田 昌子

名月の 煌めく空を 眺めをり
 桑原 正樹

今月の表紙



『町文化祭で合唱パフォーマンス』

11月3日(木)に開催された『町制施行80周年記念 第43回大崎町文化祭』で合唱を披露した大崎小学校4年生児童の皆さんです。
 堂々と大きな声で歌う姿に、会場からは大きな拍手が沸きました。児童らはただ歌うだけではなく、手話をしながら、ステップを刻みながらと来場者をくぎ付けにしていました。

人権啓発シリーズ

ハンセン病の人権

～ハンセン病問題を正しく理解し、語り継いでいこう～

ハンセン病の歴史

療養所に強制隔離された患者の方は、外出も退所も認められず、家族への差別を恐れて偽名を名乗ることを余儀なくされ、子どもを持つことを禁じられるなど、壮絶な偏見や差別の中で生きてこられました。国は平成8年の「らい予防法」廃止まで、この隔離政策をとり続けたのです。長年にわたるこの政策によって、ハンセン病は「怖い病気」として定着してしまいました。昭和24年頃には特効薬で完治するようになりましたが、偏見や差別が解消されることはありませんでした。

地域社会と共に生きる

ハンセン病療養所に入所しておられる方々の高齢化が進み、平均年齢は85歳となっています。病気は治っていても、身寄りがいないことや、長く社会との交流を絶たれてきたこと、偏見や差別が今も根強く残っていることなどから、社会復帰は難しい状況です。今では、療養所は入所者の方々にとって大切な生活の場になっています。地域の中で孤立することなく安心して暮らすために、各療養所で将来構想が策定されています。ハンセン病であった方々が、偏見や差別を受けることなく尊厳を保ち、地域社会と共に生きるための構想です。